



2018年10月31日

各 位

上場会社名 八千代工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 山口 次郎
 (コード番号 7298)
 問合せ先責任者 常務取締役・管理本部長 北村 哲也
 (TEL 04-2955-1211)

剰余金の配当(中間)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、2018年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間)及び期末配当予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当(中間)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年5月8日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2018年9月30日	同左	2017年9月30日
1株当たり配当金	8円00銭	16円00銭	16円00銭
配当金総額	192百万円	—	384百万円
効力発生日	2018年11月30日	—	2017年11月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
前回予想	16円00銭	16円00銭	32円00銭
今回修正予想	—	8円00銭	16円00銭
当期実績	8円00銭	—	—
前期実績 (2018年3月期)	16円00銭	16円00銭	32円00銭

3. 理由

本日公表の「2019年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当第2四半期連結会計期間に、当社の連結子会社であるユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド(米国)において、生産安定化対応の継続にかかる追加費用及び顧客への確実な製品供給のために他拠点からの製品補完費用を計上しました。また、一部の燃料タンクの不具合によるリコール関連費用を計上したことなどにより、営業利益、税引前利益、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益ともに業績予想を大幅に下回ることとなりました。この結果、中間配当につきましては、1株につき8円(前回予想に対して8円の減配)に修正いたします。また、下期においてもユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド(米国)の生産安定化に向けた費用を見込んだことなどによる業績の悪化見通しを踏まえ、期末配当予想につきましても、今後の資金需要及び財務体質の健全化等を総合的に勘案の上、検討の結果、1株につき8円(同8円の減配)に修正いたします。これにより、年間の配当金については1株当たり16円(同16円の減配)となる予定であります。

以上